



Topic ① チームワークを大切にした働きやすい職場環境づくりを進めています  **横浜市立 永田中学校 (南区)**

働き方改革では勤務時間の削減だけでなく、教職員がいきいきと働ける環境づくりが大切です。永田中学校では、「お互いに認め・支え・励まし・補い合える関係をつくる」ことを目標に職場づくりを行い、時間外勤務が少ないだけでなく、毎年実施のストレスチェックで年々数値を下げています。その取組の一部をご紹介します！



学校長

先生方には「生徒から“あんな大人になりたい”と思われるような生き方」をしてほしいと思っています。教職員が互いに支え合い協力しチームワークを大切にしながらか組織力を高め、「やりがいのある」「活力溢れる」学校を、みんなでつくっていききたいです。

そこでこんな取組を…

その1 永田中ブロックの取組 「休憩をしっかりとろう」

- ～昨年度永田中ブロックでは働き方について3校で協議～
- 【今年度から3校共通】休憩スペースをきちんと確保
- 【永田中学校】1階職員室の休憩スペースの他に、職員室から離れた教室の近くに休憩室を設置
- ⇒先生方が、授業の合間に“ほっと一息”できる空間に
- ⇒休憩室の環境整備は、技術員さんが協力(チームを支えています)



電気ケトルでコーヒーも。



小上がりの畳スペース



元気に生徒に向き合うために 心も体も リフレッシュ！

その2 チームワークで対応 全教職員が関わるができる仕組みづくり

- 不登校等、支援の必要な生徒を一つの教室に集める
- ⇒担任が一人で抱え込むことがなくなる
- ⇒生徒の状況を全教職員で共有しながら支援



みんなで協力し支え合う風土が定着してきている

特別支援教室「けやきルーム」
～一人の生徒を全教職員で大切に育てる～

- ①運営の様子が見える化し、利用状況・生徒一人ひとりの学習状況を共有することで、誰でもいつでも関わるができる。
- ②生徒も安心して利用できるように、「けやきルーム」の時間割を作成し、教員も計画的に支援することができる。

その3 外部人材の積極的な活用 教職員のチーム力の向上に

- 外部人材の方の力も借りながら、チーム学校を結成
- ⇒それぞれが役割を果たし、チーム力の向上に



生徒が多様な大人と関わることもつながっていく

- ・部活動指導員(サッカー部・バドミントン部)
※サッカー部は元永田中サッカー部顧問の方
- ・部活動外部指導者(吹奏楽部・華道部・卓球部)
- ・特別支援教育支援員・学習支援ボランティア 等

Topic ② はじめの一步「働き方改革研修 in 矢部小」  **横浜市立 矢部小学校 (戸塚区)**

「働き方改革につながる研修をしたいけれど、何をしたらよいのか分からない。」という学校も多いのではないのでしょうか？学校からの相談を受け、教育政策推進課の指導主事が研修内容のアドバイスをするとともに、研修当日に学校へ伺いました。

研修内容 (一部抜粋)

- 1 理想の一日を可視化しよう
- 2 今ある仕事を見つめなおそう
- 3 では、何が出来る？



【POINT】 何を残し、何を变えるか = 矢部小では何を大切にするのか

教職員一人ひとりが理想の一日を過ごすために、まずは現状を把握し、そのために具体的に何が出来るのかを、ワークショップ形式を用いて共有しました。

- ・アウトソーシングできる業務はあるか？
- ・朝練や門当番等、様々な時間外業務の見直しはできるか？
- ・一人ひとりの考え方や価値観がある。様々な働き方を尊重できる職場にしたい。

～研修を終えて～

「まずは出来ることから、始めています」

- ・18時以降の留守番電話設定
- ・教室内ワックスがけのアウトソーシング
- ・教材データの共有化 etc

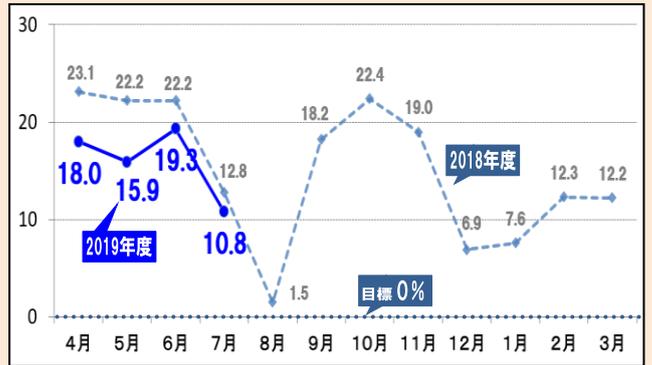
～研修を振り返って～ 指導主事のコメント

「管理職の先生と相談した上で、ミドルリーダーの先生が進める研修であったので、まずは自分の働き方や学校の現状が見える化し、全教職員で話し合うことを提案しました。子どものためにはもちろんのこと、先生方が自らの生き方を大切にした働き方を目指し、こんなことができたらいよいよと前向きにアイデアを出す姿が印象的でした。」

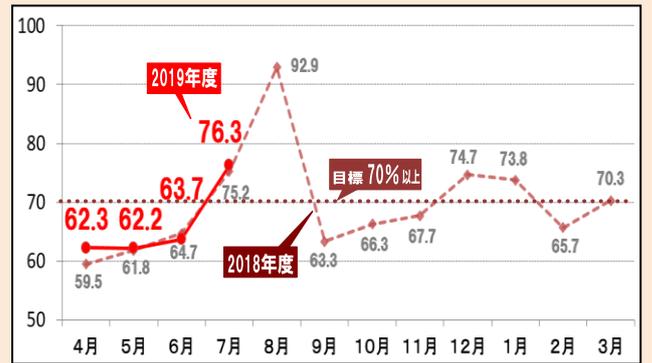
～先生のHappyが子どもの笑顔をつくる～

(1) 「教職員の働き方改革プラン」達成目標との比較・推移 (2019年8月13日時点)

項目		目標
時間外勤務月 80 時間超の教職員の割合		0%
2019年7月実績		
平均	小学校	中学校 特別支援学校
10.8% 前年比 -2.0	2.6% 前年比 -0.1	30.1% 前年比 -6.1
0.3% 前年比 +0.1		



項目		目標
19 時までに退勤する教職員の割合		70%以上
2019年7月実績		
平均	小学校	中学校 特別支援学校
76.3% 前年比 +1.1	76.8% 前年比 +1.8	72.3% 前年比 -0.3
90.6% 前年比 +0.2		



※退勤管理を導入した小・中・義務・特支の教員について、IC カード等による記録から機械的に算出した集計結果。(以下、同様)

(2) 時間外勤務 (2019年7月) の詳細

◇ 時間外勤務の割合 (全校種平均)

時間外勤務 80 時間超が昨年 7 月よりも **約 1 割半 減**

2018年7月	80時間超	45時間超80時間以下	45時間以下
12.8%	30.0%	57.2%	
2019年7月	80時間超	45時間超80時間以下	45時間以下
10.8%	29.6%	59.6%	

◇ 時間外勤務の割合 (校種別割合)

月あたり 時間外勤務	2019年7月			2018年7月	
	100時間超	80時間超 100時間以下	小計 80時間超	小計 45時間超80時間以下	小計 45時間以下
小学校	0.4%	2.1%	2.6%	30.7%	66.7%
前年比	±0	-0.2	-0.1	-1.9	+2.1
中学校	16.9%	13.2%	30.1%	31.9%	38.0%
前年比	-5.9	-0.3	-6.1	+2.7	+3.4
特別支援学校	0.0%	0.3%	0.3%	8.4%	91.3%
前年比	±0	+0.1	+0.1	-0.1	±0
平均	5.4%	5.4%	10.8%	29.6%	59.6%
前年比	-1.8	-0.2	-2.0	-0.4	+2.4



7月の時間外勤務の割合も、昨年度と比べて良い傾向が出ています。部活動ガイドラインや各校の継続的な取組の成果とも考えられます。また時間外勤務 45 時間以下の先生方の割合も、昨年度より多い傾向が見られています。先生方は Smile でいられるよう、夏休みで十分なリフレッシュや自己研鑽ができましたか。

※本資料の数値については、項目ごとに四捨五入により端数処理を行っているため、合計と内訳の和とが一致しない場合があります。